

瀬戸内海・宇和海 海難防止運動

ヒューマンエラー を防がねば

船長・船橋当直者が注意すべき事項

- 適切な見張りの励行
(レーダー及びAISの活用、自動操舵装置の適切な使用 等)
- 有効な居眠り防止対策
(船橋航海当直警報装置の適切な使用 等)
- 航法等の遵守
(安全な速力による航行、国際VHF(CH16)の常時聴守、霧中信号の励行、自船の船位確認 等)



船舶所有者・運航者が 配慮すべき事項

- 無理のない運航計画
- 適切な配船及び配乗計画
- 安全管理規定の遵守



気象・海象の
早期把握はこちらから



海の安全情報

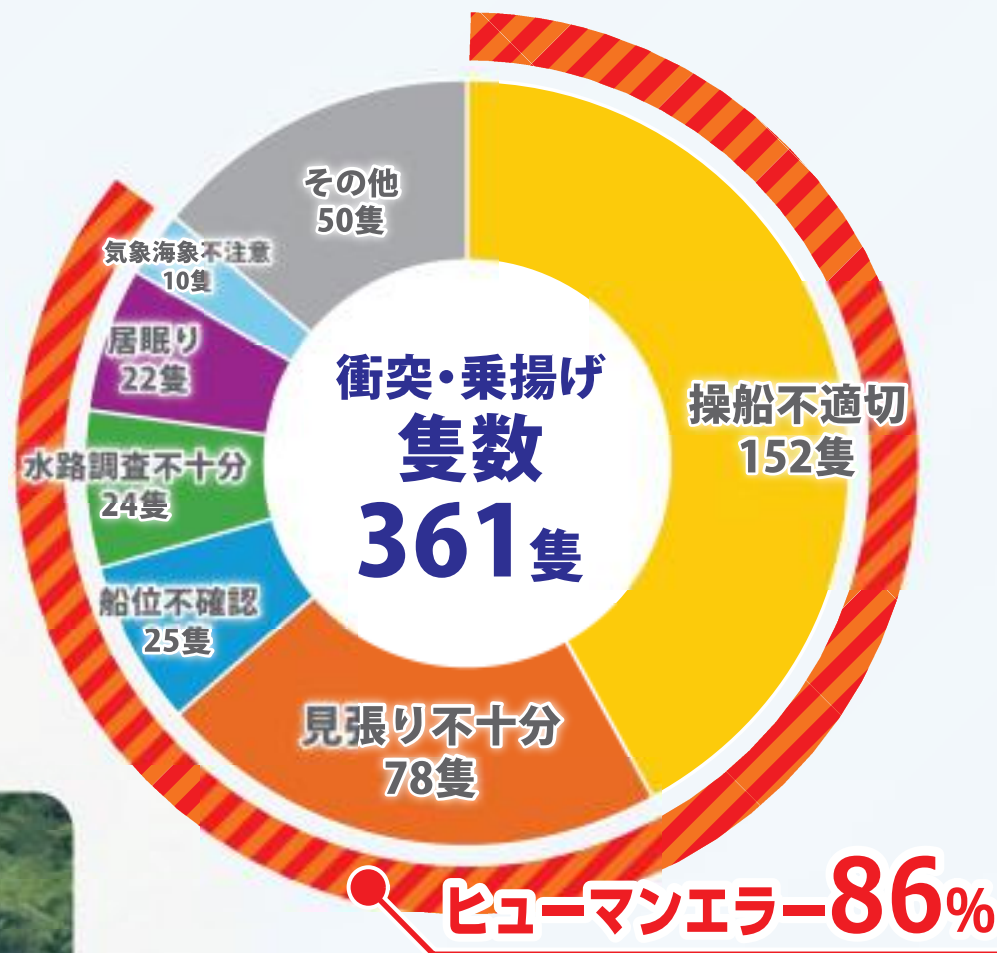
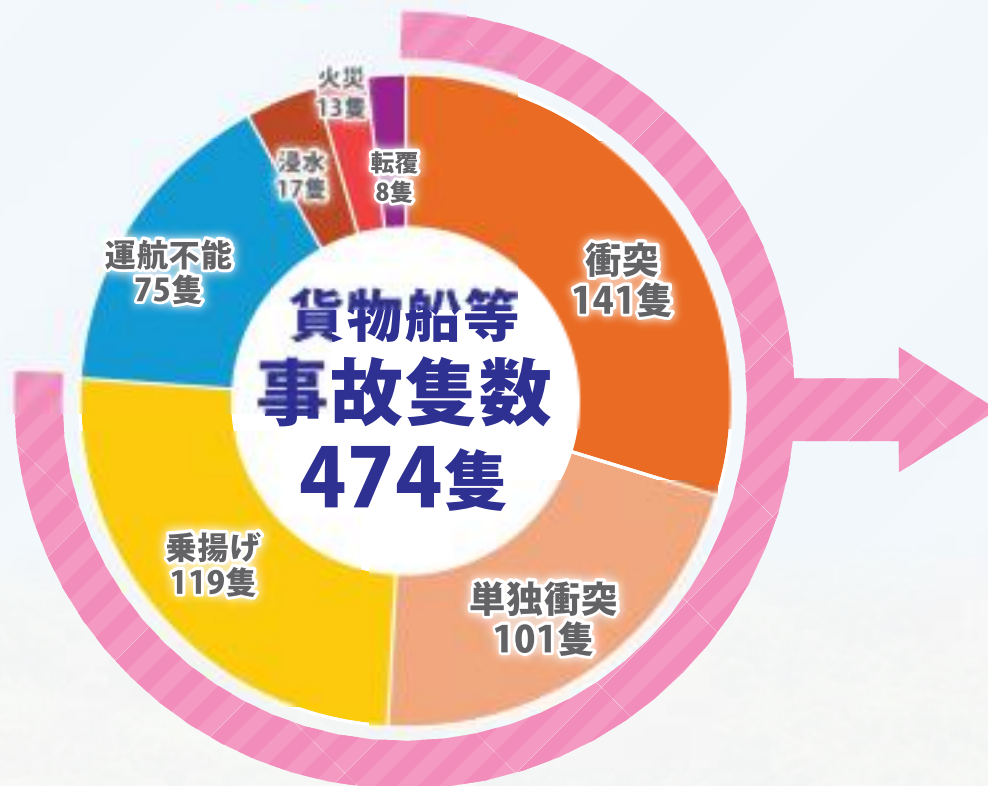


備讃瀬戸
海上交通センター



来島海峡
海上交通センター

第六管区管内における貨物船等の事故（令和2年～令和6年）



- 事故の約76%が **衝突・乗揚げ**
- 衝突・乗揚げ原因の約**86%**が **ヒューマンエラー**